

首都 **圏** 中 **央** 連絡自動車 **道** NEWS
 Vol. — 2 2004.9.5

●着工前の真里谷第4トンネル坑口(平成16年3月撮影)



首都圏を丸くつなぐ
 圏中央道。
 千葉を元気にする
 圏中央道。
 『圏中央道NEWS』は
 圏中央道のいまを
 伝える情報紙です。

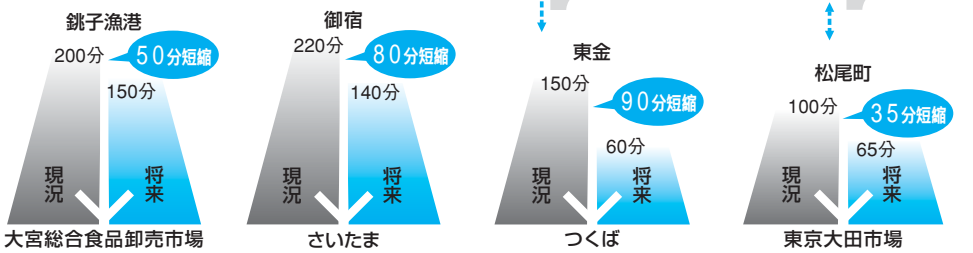
トンネルの工事が
 始まりました！

●真里谷第4トンネル坑口(平成16年8月撮影)

首都圏への一極集中がなくなり地域産業を活気づけます

首都圏へ流入する交通量が分散し、
 バランスのとれた発展が図られます。

主要都市間の移動時間を短縮し
 スムーズなアクセスを実現します。



●圏中央道ができると

圏中央道が完成すると、都心を通り抜けるだけの通過車両を排除するとともに、都心近郊の交通を適切に分散して導入することにより、首都圏の交通混雑を緩和します。また横浜・八王子・川越・つくば・木更津等の中核都市を連絡することで、業務機能を適切に分散させるなど、首都圏全体の発展に大きく貢献します。

特に房総半島のほぼ中央を背骨のような形で走る千葉圏中央道は、東京湾アクアライン、東関東自動車道(館山線・水戸線)、千葉東金道路と接続する新たな交通軸を形成し、地域の活性化、快適な観光・レジャーに寄与するなど、千葉圏の地域づくりを応援します。

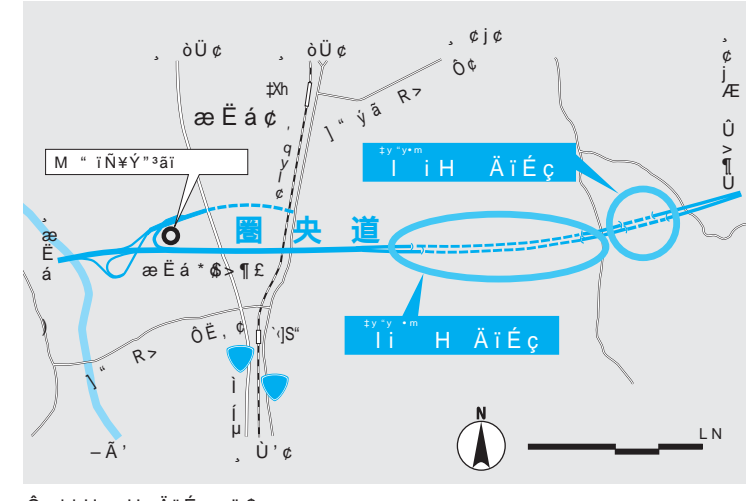
●圏中央道とは

圏中央道(首都圏中央連絡自動車道)は、首都圏中心部から半径およそ40〜60kmの位置に計画されている延長約300kmの高規格幹線道路です。

圏中央道は、常磐道をはじめ東北道、関越道、中央道、東名高速など、都心から放射方向にのびる主要な幹線道路と接続して、首都圏の広域ネットワークを形成します。

圏央道は、いま...

千葉圏央道のトンネル



圏央道トンネルの進捗状況

千葉圏央道のトンネルは、現在、着々と進捗しています。トンネルの掘削は、最新の技術を用いて行われており、予定通り進んでいます。



トンネル工事の様子

トンネルの掘削は、最新の技術を用いて行われており、予定通り進んでいます。トンネルの掘削は、最新の技術を用いて行われており、予定通り進んでいます。

起工式が行われました

起工式が行われました。関係者によるテープカットが行われ、工事が正式にスタートしました。

起工式が行われました。関係者によるテープカットが行われ、工事が正式にスタートしました。



起工式の様子



トンネル工事の様子

PNATM(ナトム)とは

PNATM(ナトム)とは、トンネル掘削の新しい技術です。従来のトンネル掘削とは異なり、掘削機をトンネルの中心に設置し、掘削機が回転しながら掘削を行います。これにより、掘削の精度が向上し、掘削速度も速くなります。

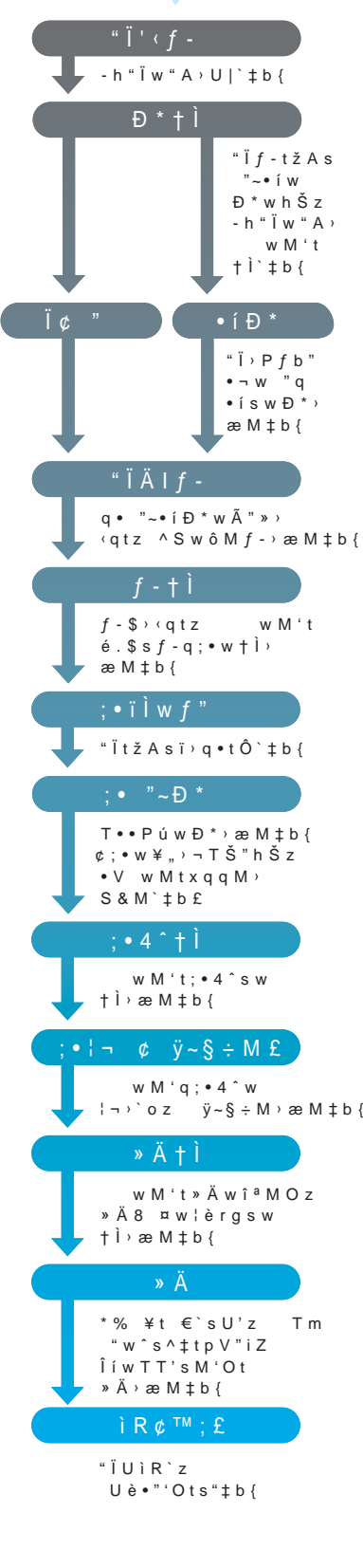
掘削機は、掘削の進行に合わせて自動的に調整を行います。掘削機は、掘削の進行に合わせて自動的に調整を行います。掘削機は、掘削の進行に合わせて自動的に調整を行います。

親子見学会を開催

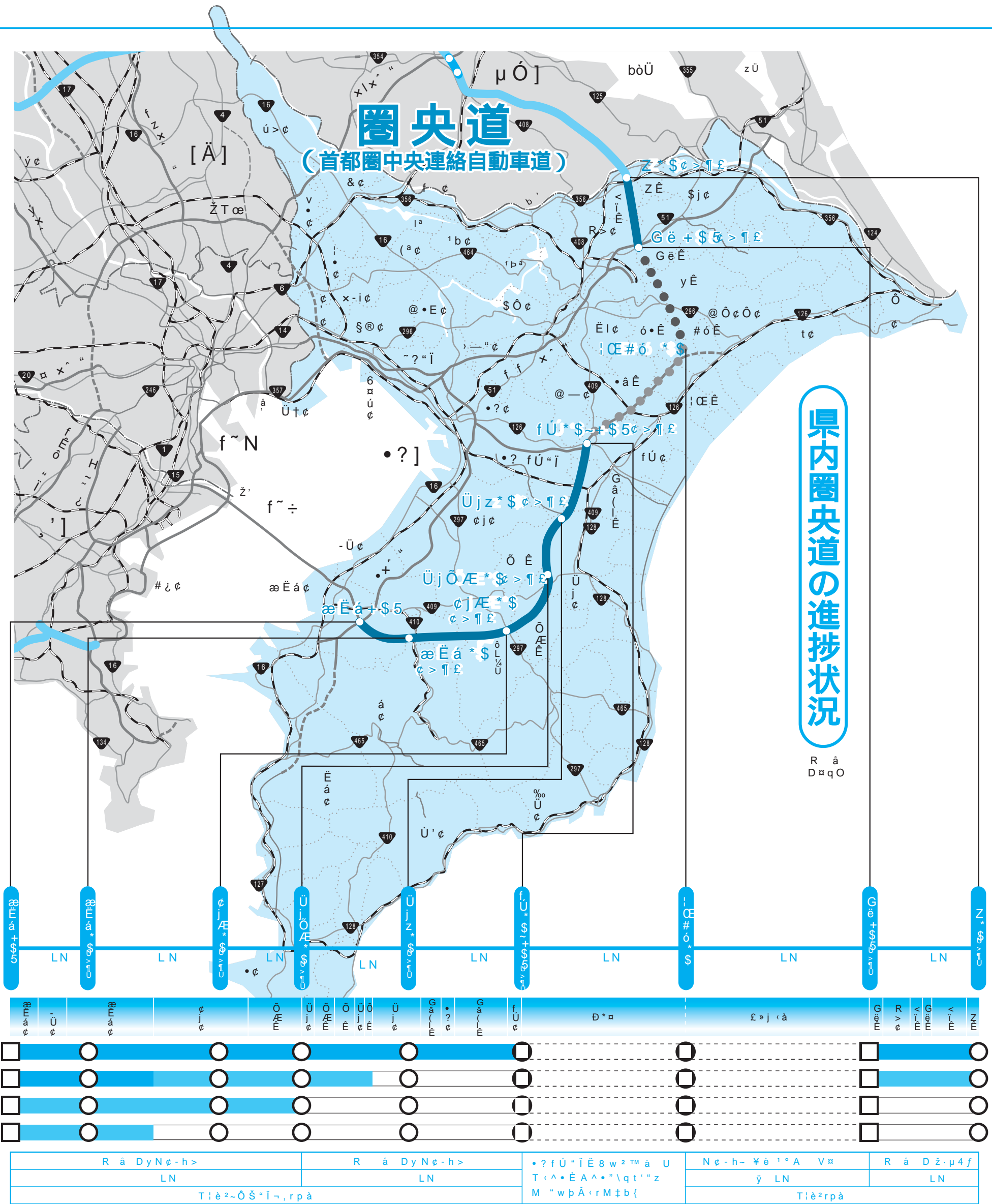
親子見学会を開催しました。親子でトンネルの建設現場を見学し、トンネルの構造や掘削の様子を学びました。

親子でトンネルの建設現場を見学し、トンネルの構造や掘削の様子を学びました。親子でトンネルの建設現場を見学し、トンネルの構造や掘削の様子を学びました。

圏央道が完成するまでの事業の流れ



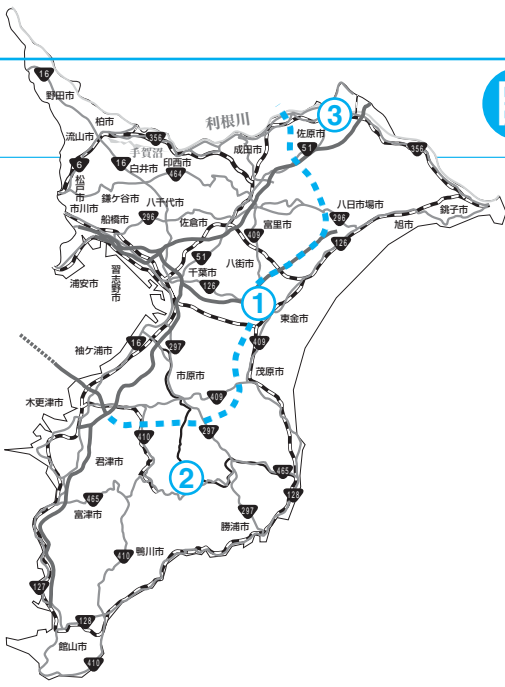
- 事業の企画・調査
- 事業の認可
- 用地の取得
- 工事の発注
- 工事の進行
- 工事の完了
- 開通



木更津インターチェンジ 仮称 附近の工事の様子

木更津インターチェンジ 仮称 附近の工事の様子。現在、インターチェンジの建設は着々と進んでいます。工事の様子を確認できます。

雑学
チバノロジ
何度も訪れたいくなる魅力が
いっぱい。千葉のおすすめ
スポットへ出かけよう！
今回は、これからの季節にぴったりのおすすめレジャーを3つ。



おすすめその2

養老溪谷まで足を延ばして、心身ともにリフレッシュ！

養老川と蕪来川が合流する一帯に見られる養老溪谷は、千葉でも有数の景勝地。春は新緑、夏は川遊び、秋は紅葉と、四季を通じて楽しめます。養老川をさらに上流にいくと、房総の名瀑といわれる「粟又の滝」があります。緩やかな斜面の岩肌をさらりと流れ落ちる様子には、誰もが魅了されることでしょう。近くには養老溪谷温泉郷もあるのです、リフレッシュできること間違いなし！



●粟又の滝

おすすめその3

豪華絢爛な山車と迫力を求めて、小江戸のまち佐原へ。

利根川の支流・小野川の水運を生きかし、江戸時代には「北総の小江戸」と称され繁栄したまち、佐原。国の重要伝統的建造物群保存地区に指定された川沿いの商家や民家が、小江戸の風情を今も漂わせています。



●雄蛇ヶ池



●佐原の大祭

そんな佐原で、毎年7月と10月に開催される勇壮な「佐原の大祭」は、関東三大山車祭りの一つといわれています。この秋の開催は、10月8日(金)・10日(日)。まちが熱気と迫力に包み込まれます。

千葉県道NEWS

子どもたちのドングリがすくすく育っています。

圏央道と地域の自然環境との調和や共生を目指した取り組みの一つとして、昨年10月に「千葉圏央道環境体験学習会」が行われました。学習会では、木更津市立富岡小学校の3、4年生の参加により、圏央道の予定地周辺からドングリが集められ、鉢植えされました。

子どもたちは、毎朝教室に入る前に鉢に水をやるなど大切に育て、ドングリの苗は、現在では大きいもので40cmほどの高さまで成長しています。育てられたドングリは、1、2年後に苗木として植樹され、圏央道の緑化に役立てられます。



●富岡小学校で育てられているドングリ(主にコナラ)(平成16年7月撮影)

圏央道インフォメーション館のご案内

「圏央道インフォメーション館」は、みなさまに圏央道についてもっと知っていただくための施設です。圏央道の説明パネルや、インターチェンジの模型、工事写真などを展示し、圏央道に関するさまざまな情報発信を行っています。ぜひお越しください。

詳細についてのお問い合わせや、見学のお申し込みは左記までお願いします。

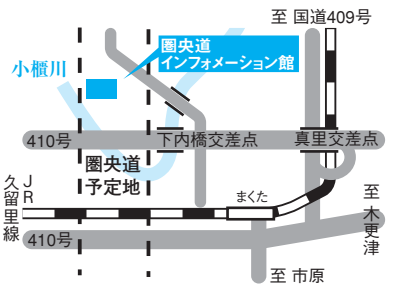


●圏央道インフォメーション館外観



●館内の様子

所在地 千葉県木更津市下郡字今間川原 1412
開館時間 8:30～17:00 (団体のみ要予約)
電話 0438-40-6055



千葉圏央道 マスコットキャラクター 愛称決定!!



ちばじろうです!

千葉圏央道マスコットキャラクターの愛称募集に、多数のご応募ありがとうございました。厳正な審査の結果、「ちばじろう」に決定しました。ちばじろうは今後、千葉圏央道のさまざまな場面で活躍します。応援よろしくお祈りします。

PS: ほおとすくりぶと…………… 編集後記

『圏央道NEWS』の第2号、いかがでしたか? 圏央道の工事や進捗について、ご意見、ご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。



編集・発行 国土交通省 千葉国道事務所
〒263-0016 千葉県千葉市稲毛区天台5-27-1
TEL.043-287-0311 FAX.043-287-7895
http://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/
●お問い合わせは
TEL.043-285-0317 FAX.043-256-0841



国土交通省 常総国道事務所
〒300-0033 茨城県土浦市川口1-1-26 MY土浦ビル4F
TEL.029-826-2040 FAX.029-826-4671
http://www.ktr.mlit.go.jp/jousou/
神崎→大栄間の用地測量から工事までを担当します



国土交通省 東京湾岸道路調査事務所
〒273-0012 千葉県船橋市浜町2-5-2
TEL.047-433-3201 FAX.047-433-3203
http://www.ktr.mlit.go.jp/wangan/
大栄→横芝間を担当します



日本道路公団 東京建設局 千葉工事事務所
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉2-9-3
TEL.043-350-3321 FAX.043-350-3326
http://www.faipi.com/